

11109その他の非鉄金属製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	11 ～ 12	被災者は形材段取りのためローリフトに乗って作業を実施していた。バックで後方に下がった際、充電中の形材投入機側面部分と衝突、形材投入機の下にローリフトのステップが入り込み、リフトと投入機に両足を挟まれた。	58	7	229	1000人以上
2	2018	1	16 ～ 17	当社屋外形材置き場で、アルミ形材をフォークリフトで運ぶ作業終了後、フォークリフトから雪が積もった地面に降りる際に、右足を地面に着いたとき、少しバランスが崩れ、右足首に体重（約90キロ）が掛かったところ、右足アキレス腱を断裂した。	60	19	921	100～299人
3	2018	1	20 ～ 21	工場にて、全長カット（プレーナー）作業をしていたとき、鋸刃の進行方向（右）に部材がセットされており、その部材を左手で確認していた。その際、鋸刃と部材との距離が15cmほどしかなく、左手を引っ込めようとしたとき、鋸刃と接触し、切創を負った。	54	8	159	—
4	2018	2	9 ～ 10	鋳物の中子の除去作業中、ガンから放水した瞬間にガンのコントロールを失い、ノズルが頭部の方に向き、防災用のヘルメットの面と顔の隙間から水が入り、左頬、左目の裂傷を負った。	31	4	391	30～49人
5	2018	2	16 ～ 17	荷台から側面のアオリにつかまり、足を掛ける際に無理な体勢をしたため、地面に着地した右足ふくらはぎに違和感があった。	49	3	417	100～299人
				伸線機ドラム前にてセット作業で伸線ドラムに10巻程度巻きつけ				

6	2018	3	20 ～ 21	てトンスを取り外そうとしたとき、右側押さえロールを既に押さええた状態で、左側押さえロールで更に押さえようとしたが、誤って右側押さえロールを開放してしまった。押さえロールの入切のセレクトスイッチが上下に並んでおり、左右どちらの押さえロールか分かり難い状態だったことから、トンスを持たずに押さえロールを全て開放した状態となり、スプリングバックが発生し、左脇腹と接触した。	41	6	159	100 ～ 299 人
7	2018	3	6 ～ 7	工場1F、障害物のない平坦な場所に落ちた製品を拾い、箱に入れようと立ち上がったときに立ちくらみがした。咄嗟に手をついたときの衝撃で負傷した。	26	19	921	50～ 99人
8	2018	3	5 ～ 6	工場階段で、トイレに行こうとして小走りに降りたら、階段の中央付近で足を滑らせ前のめりに転倒して、両足首をひねった。	49	2	413	100 ～ 299 人
9	2018	3	20 ～ 21	退社時に工場の戸締まり照明消灯を行い、東側のシャッターから出ようと押出6号機の通路を歩き、最終シャッター前に置かれていた台車につまずき、台車のハンドル棒に鼻をぶつけ外傷・鼻骨折した。	45	2	362	100 ～ 299 人
10	2018	4	9 ～ 10	本社工場内で施盤機内の高所を掃除するために、プラスチック製の台に乗り、作業をしていたところ、台が滑り、バランスを崩し左手で体を支えようとしたところ、機械内部の鋭利な部分で左手のひらを切るとともに、金属の削り粉が皮膚内にささった。	52	19	151	30～ 49人
11	2018	5	14 ～ 15	工場内旋盤にて作業中、小径のワークを取り付け作業していた際に、心押台のセンターでワークを押さえようとペダルを踏んだときにファスナーとワークの間にズレが生じていることに気付き、修正しようとして手を出して右手親指をセンターとワークの間に挟み負傷した。	73	7	151	10～ 29人
			4	工場内で製品を並べたパレットを台車から持ち上げ、機械にセッ				

12	2018	5	5	トしようとした際、バランスを崩し腰をひねり、腰に激痛が生じ動けなくなった。	27	19	921	30～ 49人
13	2018	6	11 ～ 12	製品である電柱の仕上げ作業中、誤って電柱を落下させて、右足甲から親指を挟まれ、親指を骨折した。	36	3	521	30～ 49人
14	2018	7	17 ～ 18	剥線機就業点検中、スリット部の安全カバーを外し、異物を除去するため、軍手を装着した左手をスリット部に伸ばし前傾姿勢になった際、誤ってフットペダルを踏み込み、スリット刃が回転し軍手のまま左手中指が巻き込まれ被災した。	56	7	169	50～ 99人
15	2018	7	14 ～ 15	鋳型へ注湯作業中に、溶解した湯（約1000度）が手に持っていた容器からこぼれ、足に掛かってしまい、火傷した。	62	11	911	10～ 29人
16	2018	8	10 ～ 11	マーガリン工場において、配管を組み付ける際に、配管を担ぎ上げたときに腰に激痛を感じ、腰椎圧迫骨折と診断された。	47	19	611	50～ 99人
17	2018	8	9 ～ 10	保持炉のブローア交換のため、脚立に登っているとき、脚立の3段目から落ち受傷した。	75	1	371	50～ 99人
18	2018	9	14 ～ 15	金属切削加工作業中、加工台座にセットされた加工対象物の固定状況を確認しようとして、回転中の切削工具の端部に右手が触れて、右手背挫滅創、右母指から環指までの裂挫創を負った。	18	8	152	10～ 29人
19	2018	9	10 ～ 11	電線撚り作業中、製品外観が悪く確認したところ紙介在の位置がずれていたため、入る位置をずらせば直ると思い、機械が稼働した状態のまま無理やり両手で紙介在の挿入位置を変更しようとして、撚り合わせ口に薬指・小指を巻き込まれた。	39	7	169	300 ～ 499 人
			12	ポット設備にて、新規取り付けをした温度センサーの位置決めを				100 ～

28	2018	9	12 ～ 13	ポット設備にて、新規取り付けをした温度センサーの位置決めをして終了後、段から降りようとした際に足を踏み外し、後方へ落下して腰を強打した。	62	1	419	～ 299 人
29	2018	9	15 ～ 16	大型伸線機をゴムロールに線を通さずにスタートしてしまい、途中で気付いて機械を止めずに手で通そうとした際、バランスを崩して左手薬指がゴムロールに巻き込まれて負傷した。	38	7	169	50～ 99人
30	2018	9	14 ～ 15	金属切削加工作業中、加工台座にセットされた加工対象物の固定状況を確認しようとして、回転中の切削工具の端部に右手が触れて、右手背挫滅創、右母指から環指までの裂挫創を負った。	18	8	152	10～ 29人
31	2018	9	10 ～ 11	電線撚り作業中、製品外観が悪く確認したところ紙介在の位置がずれていたため、入る位置をずらせば直ると思い、機械が稼働した状態のまま無理やり両手で紙介在の挿入位置を変更しようとして、撚り合わせ口に薬指・小指を巻き込まれた。	39	7	169	300 ～ 499 人
32	2018	9	12 ～ 13	ポット設備にて、新規取り付けをした温度センサーの位置決めをして終了後、段から降りようとした際に足を踏み外し、後方へ落下して腰を強打した。	62	1	419	100 ～ 299 人
33	2018	9	15 ～ 16	大型伸線機をゴムロールに線を通さずにスタートしてしまい、途中で気付いて機械を止めずに手で通そうとした際、バランスを崩して左手薬指がゴムロールに巻き込まれて負傷した。	38	7	169	50～ 99人
34	2018	10	15 ～ 16	取引先の資材置き場で、取引先の従業員がフォークリフトを運転してフレコンバッグを大型トラックに積み込み、被災者が荷台で整理作業をしていた。被災者がフレコンバッグの紐を引っ張った際に紐が切れて、その勢いで荷台から落下して左踵を骨折した。	35	1	611	10～ 29人
35	2018	11	3 ～ 4	ケーブルに被覆された保護材を剥ぎ取り、剥ぎ取られた保護材を切断機で切断していた。その際、保護材の端末を押さえていた右手が、ロール部に巻き込まれた。	28	7	169	500 ～ 999

									人
36	2018	11	14 ～ 15	工場でグラインダーの刃を交換するため、機械の電源を切っ てから刃に触った。その際にコンセントを抜いていなかったた め、グラインダーが動き出し、右腕を負傷した。	42	8	153	10～ 29人	
37	2018	11	8 ～ 9	始業前にトイレに行った際、個室ドアの鍵が壊れて開かず、 ドアの上部開口部（高さ1m80cm）から飛び降りたところ、 踵を骨折した。	63	1	419	1～9 人	
38	2018	11	14 ～ 15	工場建屋内にある貯蔵品倉庫で、鋳鉄製ホイールを作業員2 人でフォークリフトを使って移動させる際、1人が別件でその 場を離れたため、被災者が単独でフォークリフトを使わず手 作業で移動させた。その際、ホイールのバランスが崩れて転 倒し、被災者の両足が挟まれた。	66	6	911	50～ 99人	
39	2018	11	14 ～ 15	工場内の搬出装置で、アルミニウム加工材（ビレット）を移 動させるため、被災者が搬出の誘導をしていた。フォークリ フト側へビレットを転がそうとし、フォークリフトの爪を上 昇させたとき、ビレットが被災者側へ転がり、左膝を負傷し た。	49	4	222	50～ 99人	
40	2018	12	12 ～ 13	駐車場へ移動中に、駐車場入口付近で車が駐車場を出よう としたときに、先に車の走路を横切ろうと小走りしたときに 地面につまずき、転倒し負傷した。両手をついて転倒した ときに、右手親指付根を骨折し、左膝を捻挫した。	64	2	417	100 ～ 299 人	
41	2018	12	11 ～ 12	自社構内駐車場で、トラック車内の清掃作業をしていた際、 誤ってトラック助手席から落下し、股関節を骨折した。	64	1	221	30～ 49人	
42	2018	12	13 ～ 14	会社内工場で、金属線をボビンに巻き取る作業中に、巻取 機に左手の軍手が巻き込まれ、左手を巻き込まれ骨折し た。	64	7	169	1～9 人	
				機械を停止し、各所で設備メンテナンスを実施していた。被災者					

43	2018	12	14 ～ 15	を含む4名は地上から10.3mの高さで整備完了済みのバルブ槽ポンプから、噴霧用水を送液するポリエチレン製配管を取り付ける作業を行うことにした。1人の作業者が作業を開始し、被災者は手伝うために移動しようと足を踏み入れた際、一部（55cm×95cm）が抜け、地上まで落下し、胸、腰、足を骨折した。	64	1	417	50～ 99人
----	------	----	---------------	--	----	---	-----	------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。